

各関係機関長 様

佐賀県農業技術防除センター所長

## 普通期水稲におけるトビイロウンカ の防除対策の徹底について

県では注意報第1号（令和元年8月1日付け）、注意報第2号（令和元年9月6日付け）を発表し、水稲のトビイロウンカに対する防除対策の徹底を呼びかけているところです。

このような中、9月17～19日の定期調査において、トビイロウンカが多発生した圃場が認められました。また、県内の一部圃場では、本虫の大量発生に伴い、稲の坪枯れが発生しています。ついては、本虫の防除対策について、下記を参考に生産者への指導の徹底をお願いします。

記

### 1．発生概況

- (1)9月17～19日に実施した普通期水稲の調査（46圃場）では、トビイロウンカの発生株率は23.1%（平年15.1%、前年0.1%）であり、平年よりやや多く、前年より多かった（図1、表1）。
- (2)トビイロウンカの発生が確認されなかった圃場がある一方で、一部圃場では本虫が多発生している（表1、写真1）。また、県内の一部圃場では、本虫の大量発生に伴い、稲の坪枯れが発生している（写真2）。

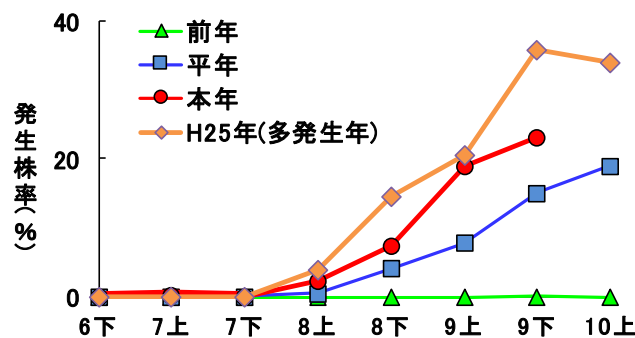


図1 普通期水稲でのトビイロウンカの発生推移

### 2．防除対策

- (1)田植え時期、地域、水稲の品種、これまでの防除歴等の違いによって、トビイロウンカの発生状況は圃場毎に大きく異なるので、発生予測図（図2）を参考に、必ず圃場の発生状況を確認する。

- (2) **早生品種**において収穫適期を迎えた圃場では、**速やかに収穫**を行う。
- (3) **中晩生品種**では、発生の**圃場間差が大きい**(表1)。9月中旬頃に老齢幼虫及び成虫の合計数が**1株当たり5頭以上**(要防除水準)みられる圃場では、今後、第三世代虫が急激に増加する恐れがあることから(図2)、**本虫の幼虫ふ化揃い期をねらって防除**を実施する。
- (4) 本虫は株元に生息しているので、**薬剤は株元まで十分かかる**よう、丁寧に散布する。
- (5) 薬剤散布の際には、周辺作物への飛散防止に努めるとともに、**収穫前使用日数及び使用回数等の農薬使用基準を遵守**する。



写真1 調査圃場で確認したトビイロウンカ(2019年9月17~18日撮影)  
若~中齢幼虫、 若~老齢幼虫、 中~老齢幼虫。



写真2 トビイロウンカの大量発生に伴う水稻の坪枯れ(2019年9月17~18日撮影)

表1 普通期水稻におけるトビイロウンカの発生状況  
(2019年9月17～19日、25株調査)

調査地点 注1	寄生 株数	最高注2 頭数		幼虫 の 齢	確認 ( 短翅雌 成虫)	品 種	備 考
		成虫 頭	幼虫 頭				
佐賀市	0					夢しずく	
東与賀町	1	1				夢しずく	
	0					夢しずく	
	2	1				夢しずく	
多久市	0					さがびより	
	0					さがびより	
	1		1	中 齢		さがびより	
	1	1				さがびより	
小城市	0					さがびより	
三日月町	2	1	1	中 齢		さがびより	
	4	1	1	中～老 齢		さがびより	
	0					さがびより	
鳥栖市	0					さがびより	
	1		1	中 齢			
	0						
	1	1					
神崎市	12	3	20	若～中 齢			
千代田町	4	1	1	中 齢			
	6	2	2	中 齢			
	7	1	1	中～老 齢			
吉野ヶ里町	3	1	1	中 齢			
	4	1	1	若～中 齢			
	6	1	1	中～老 齢			
	2	1					
唐津市	25	1	250	若～老 齢		夢しずく	
	25	3	250	若～老 齢		夢しずく	収穫済み
	-						収穫済み
	-						
伊万里市	0					田んぼの夢	
	18	4	120	若～中 齢		田んぼの夢	
	17	2	30	若～中 齢		田んぼの夢	
	1	1				田んぼの夢	
武雄市	1	1				さがびより	
	4		5	若～中 齢		さがびより	
	19	2	30	若～中 齢		夢しずく	
	4	1	1	若～中 齢		ヒヨクモチ	
白石町	0					ヒノヒカリ	
	0						
	4	1	10	若～中 齢			
	2	1				ヒノヒカリ	
鹿島市	1	1				さがびより	
	6	1	5	若～中 齢		さがびより	
	19	1	80	若～中 齢		夢しずく	
	9	1	4	若～中 齢		夢しずく	
嬉野市	1		2	中 齢		さがびより	
	25	2	200	若～老 齢		ヒノヒカリ	
	15	1	5	若～中 齢		夢しずく	
	13	1	5	若～老 齢		夢しずく	
本年 発生株率(%)	23.1						
平年 発生株率(%)	15.1						
(平年比)	やや多						
前年 発生株率(%)	0.1						
(前年比)	多						

注1) 上記の各地点の圃場の結果が、必ずしも当該地域全体の発生状況を示すものではない。

注2) 25株調査のうち、最も発生が多かった株の最高頭数を示す。



図2 トビイロウンカ各世代の発生予測(第8版、2019年9月19日作成)

1. 6月30日頃、7月10～11日頃(図では7月10日)、7月21日頃に飛来したウンカを起点とし、有効積算温度と佐賀市川副町の気温データ(第7版では8月21日までは実測値で以降は平年値、第8版では9月18日までは実測値で以降は平年値)を基に作成した。
2. 発生予測図(第7版)までは、6月6日頃の飛来虫も図示していたが、普通期水稻には6月6日飛来虫は定着していないと考えられることから、本図(第8版)では除外した。
3. 本虫に対しては、幼虫ふ化揃い期の防除効果が最も高い。しかし、本年は断続的に飛来がみられたことから、飛来波ごとの幼虫の出現時期は異なる。
4. 田植え時期に加え、地域、水稻の品種、これまでの防除歴等の違いによって、発生状況は圃場毎に大きく異なるので、必ず圃場の発生状況を確認したうえで、防除対策を講じる。

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部  
 〒840 2205 佐賀市川副町南里 1088  
 TEL (0952)45 8153 FAX (0952)45 5042